

本校1年の佐々葵君が「あいち高等学校男女共同参画海外派遣」の事業の一環で、8月18日（日）～8月22日（木）に愛知県代表としてオーストラリア ビクトリア州メルボルンに派遣されました。現地では男女共同参画の取り組みが進む企業や団体などを訪ね、日本よりも男女共同参画先進国であるオーストラリアの取り組みの成果と課題を知りました。

帰国後の9月2日には県庁を訪問し、現地で学んだことを青山桂子副知事に報告しました。

2019年9月3日 中日新聞に掲載されました。

県の事業で男女共同参画の先進国であるオーストラリアに派遣され、現地企業などを訪問した高校生4人が二日、県庁を訪れ、訪問先で学んだことを青山桂子副知事に報告した。四人は旭丘高二年入江七海さん（こも）、一宮高一年佐々葵さん（こも）、豊田工高三年木下周さん（こも）、時習館高二年伊藤美月さん（こも）。八月十八～二十二日、ビクトリア州に滞在し、男女共同参画の取り組みが進む企業や団体などを訪ねた。

生徒たちは、出産前後の女性への支援体制が整ったホテル運営会社や、従業員の男女比を同じにする目標を掲げる運輸会社があることなどを紹介。入江さんは「自分のやりたいことを固定化された性別のイメージで制限されないことが大事だと感

豪の男女共同参画学んだ

派遣の高校生4人 県に報告



青山副知事（右端）に現地の取り組みを報告する4人＝県庁で

じた」と語った。青山副知事は「今回の経験を生かして、愛知の共同参画を進める人材になってほしい」と激励した。

（森若奈）

この記事・写真等は、中日新聞の許諾を得て転載しています。